

助成金交付規程

(目的)

第1条 この規程は、一般社団法人カーボンリサイクルファンド(以下「当法人」という。)が行う研究助成活動における助成金交付業務の手続き等を定めることを目的とする。

(交付の対象)

第2条 当法人は、第3条の規定に基づき選定された研究助成対象について研究を行う研究者等(研究代表者又は研究代表者が構成する研究者チーム。以下同じ。)に対し、当該研究に必要な費用の一部に対して助成する。

(交付の対象の選定)

第3条 当法人は、助成金の交付を希望する研究者等に対して、研究助成対象に係る研究内容及び必要事項を記載した交付申請書や当法人が別に指定する書類・電子データ等を当法人が別に定める期日までに提出させるものとする。

2 当法人は、前項の規定に基づく交付申請書を受理したときは、その内容について、別に定める採択審査委員会において審議し、審査を行うものとする。

3 前項の審査の結果、採択審査委員会が助成金を交付すべきものと認めたときは、当法人は、様式3号の研究助成金交付決定通知書(以下、「交付決定通知書」という。)により、その旨及び助成金の上限額を研究者等に通知するものとする。

4 当法人は、助成金の交付を決定する場合において、必要な条件を定めることができるものとする。また、当法人は、前項の場合において、助成金の交付を適正に行うために必要があるときは、助成金の交付の申請に係る事項につき修正を加えて助成金の交付を決定することができるものとする。

5 当法人は、採択審査委員会が助成金の交付の対象として適当でないと認めるときは、その旨を研究者等に通知するものとする。

(選定の基準)

第4条 当法人は、助成金の交付の対象を選定するに当たっては、次に掲げる事項を基準として行うものとする。

- 一 研究内容を的確に遂行するに足る研究能力を有すること。
- 二 研究内容に係る経理その他の事務について適格な処理能力を有すること。

三 当該研究者等が遂行する研究内容が、カーボンリサイクル業界から取り組むことが期待される研究を行うものであること。

四 当該研究者等が遂行する研究内容が、独創的、革新的または優位性があるものであること。

五 当該研究者等が遂行する研究内容が、具体的計画を有し、実現性が高く、実施可能な計画であること。

六 当該研究者等が遂行する研究内容が、産業に応用される実現性が高いこと。

(助成対象費用等)

第5条 助成対象費用は、研究に必要な費用のうち、別記に掲げる直接経費の範囲とする。

(請書の提出)

第6条 研究者等は交付決定通知書を受け取った後、様式4号の研究助成交付請書を当法人に提出することとする。

(研究実績の確認)

第7条 当法人は、助成事業の完了日までに、研究者等から様式5号の実績報告書を提出させ、その内容の審査を行い、様式6号の実績確認通知書により、実績を確認した旨を研究者等に通知するものとする。

(助成金の支払)

第8条 当法人は、第6条の研究助成交付請書を当法人が確認した後、研究代表者の所属機関指定の口座に助成金を振り込むこととする。

2 前項の規定にかかわらず、当法人は、助成金の支払方法及び支払時期について、交付決定時に申請者と協議することができる。

(成果報告書の提出)

第9条 当法人は、助成事業が完了したときは、完了した日から30日以内に、研究者等から様式7号の成果報告書を提出させるものとする。また、当法人の指示に従い、当法人が開催する成果報告会でその内容を発表させるものとする。

(不測の事態)

第10条 研究者等は、不測の事態により助成事業を予定の期間内に完了することができないと見込まれる場合又は助成事業の遂行が困難となった場合においては、速やかに当法人に報告し、その指示を受けるものとする。

(成果の普及)

第11条 当法人は、研究者とともに、研究成果の普及等に努めるものとする。

2 前項によるほか、研究者等は、助成事業による成果を学会又は学術雑誌等で発表する場合には、助成事業による成果である旨明記するものとする。

附則

この規程は、令和 2 年 4 月 27 日から施行する。

一部改正 令和 3 年 4 月 26 日

一部改正 令和 4 年 4 月 26 日

直接経費細目例

費目	細目例
1. 設備備品代	● 土木・建築工事費
	● 機械装置等製作・購入費
	● 設置・保守・改造修理費
	● その他設備備品に係る経費
2. その他経費	● 直接人件費
	● 消耗品費
	● 旅費
	● 外注費
	● その他諸経費

一般社団法人カーボンリサイクルファンド
20**年度研究助成金交付申請書表紙

研究課題名：

研究代表者所属機関名：

研究代表者名：

(様式 2 号)

20**年 月 日

一般社団法人カーボンリサイクルファンド
会長 福田 信夫 殿

住 所
所属機関名
所属機関長 (印)

20**年度研究助成交付申請書
(20**年 月から 20**年 月まで)

研究助成金の交付を受けたいので、助成金交付規程第 3 条第 1 項の規定に基づき、
下記のとおり申請します。

記

1. 研究課題名

2. 助成金交付申請額 金 円
内訳は、別紙 4 「助成研究費支出計画表」のとおり

3. 助成事業の開始及び終了予定年月日
開 始年月日 20**年 月 日
終了予定年月日 20**年 月 日

4. 助成事業の概要
概要は別紙 1 のとおり

5. 研究代表者連絡先
・所属機関名 :
・氏 名 :
・住 所 :
・Tel :
・E-mail :

助成研究概要

本様式は、ページ数を増やさず纏めて下さい。
※提出の際は、赤字は削除して下さい。

研究課題名 (20字程度を目安として記載して下さい。)

1. 研究開発概要

- 革新性、独創性、従来研究に対する優位性の他、カーボンリサイクル普及への貢献やその他波及性等についても含めて簡潔に記載して下さい。
- 図表も使用しても構いません。
- 過去、当法人で採択された研究の継続を希望される場合は、過去採択からの革新性や独創性などが分かるように記載をお願いします。

助成研究概要

本様式は、ページ数を増やさず纏めて下さい。
※提出の際は、赤字は削除して下さい。

2. 研究開発体制	<input type="checkbox"/> 産学連携 <input type="checkbox"/> 企業のみ <input type="checkbox"/> 大学等のみ *どちらか■に塗りつぶして下さい。 各機関名と役割分担も数行程度で簡潔に記載して下さい。
3. 研究分野	最も近い分野を1つ選択して、この欄に記載下さい。「@その他(XXXXX)」の場合は()内に分野を記載下さい。
4. 当法人との関わり	<input type="checkbox"/> 当法人の会員 <input type="checkbox"/> 継続研究(過去に当法人の助成に採択) <input type="checkbox"/> 新規提案(過去に当法人の助成に採択) <input type="checkbox"/> 当法人のワークグループのアイデア 該当する場合は、■に塗りつぶして下さい。
5. 研究期間及び助成金希望額	研究期間 : 20**年 月から20**年 月まで 助成金希望額 : 円
6. 連携を想定している企業	研究成果の社会実装に向けて将来連携を想定されている企業名を記載して下さい。
7. 応募者の情報(研究代表者名と所属先を記載してください)	所属機関名(法人名) 例 ○○○○株式会社、○○ 所属 ○○○部○○課 役職、氏名、 課長 ○○ ○○ (年齢○歳) 所在地 ○○県○○市・・・・ (〒○○○-○○○) Tel △△△△-△△△-△△△△ (携帯電話 0XX-XXX) E-mail *****@***** 経理責任者の役職、氏名 課長 ○○ ○○ 経理責任者Tel △△△△-△△△-△△△△ 経理責任者E-mail *****@*****

【3. 研究分野の選択】

①CO₂分離回収(直接空気回収(DAC)を含む)・固定化技術(鉱物化等)

②燃料・化学品への転換技術

③社会科学やカーボンリサイクル普及に向けた制度設計(CO₂価値付け)等の分野

④炭素資源(プラスチック等)の循環に係る技術

⑤生物等を活用した技術(細菌・バクテリア等・バイオミミック含む)

⑥カーボンリサイクルの価値向上に係る技術(AI/IoT技術によるCO₂の見える化、CO₂を使った高付加価値材へ転換等)

⑦CO₂吸収源(土壌、早生樹・楡林、アルカ*、農林水産等)活用によるネガティブエミッション分野

⑧その他(水素製造・アンモニア製造、気候変動対応に資する技術)

助成研究内容は書式を変えず、5ページ以内にまとめて下さい。

図、写真、グラフ等の使用は可とします。

※提出の際は、朱字は削除して下さい。

一般社団法人カーボンリサイクルファンド 助成研究内容

I : 研究目的及び研究内容等

①研究の背景及び目的、②研究内容を記入して下さい。

(①について、実用化における課題を明らかにした上で、それらに対する研究課題や研究目的を示して下さい。)

(②について、研究内容を研究項目ごとに具体的に記載して下さい。また、その際、革新性、独創性または従来技術に対する優位性等についても示しながら分かりやすく記載して下さい。)

(②について、各研究項目について、助成期間終了時に予想される研究成果を記載して下さい。必ずしも数値で示す必要はないですが、進捗度が客観的に評価できるよう具体的に記載して下さい。)

II : 実用化による効果等

(カーボンリサイクル普及への貢献、CO₂削減効果、産業に応用される実現性が高いこと(経済効果等)を記載して下さい。その他、波及的効果等(例:安全な生産プロセスの実現、国産化、自給率の向上など)がありましたら、それについても記載して下さい。)

III : 研究計画及び研究体制等

① 研究期間 ②研究スケジュール ③研究組織とその役割分担などを記入して下さい。

(②について、「I : 研究目的及び研究内容等」で示す研究項目ごとに線表で示し、実現性が高く、実施可能な計画であることを示して下さい。)

--

IV：研究業績等

①投稿又は投稿中の関連論文 ②出願又は出願中の関連する知的財産権
 ③過去に実施した、あるいは、現在実施している、あるいは、現在応募している公的資金による同一又は類似の研究開発がある場合には、その制度、研究開発テーマ及び内容を説明してください。

V：主要な研究者情報

組織名	氏名	役職名	略歴	役割分担
(研究者数に合わせて適宜行を追加して下さい。)			(最終学歴から簡潔に記載して下さい。)	

VI：助成研究経費組織内訳 (単位：千円)

組織名	総 額	(内訳)	
		設備備品代	その他経費
(組織ごとに記載して下さい。) (組織数に合わせて適宜行を追加して下さい。)			

当該提案に使用する予定の主要な現有設備・装置等の保有状況

組織ごとに作成して下さい。
※提出の際は、朱字は削除して下さい。

組織名： _____

設 備 名 称	内 容 (使用目的・仕様等を記入して下さい)

助成研究費支出計画表
(20**年 月から20**年 月まで)

組織ごとに作成して下さい。
※提出の際は、赤字は削除して下さい。

組織名： _____

(単位：千円)

経費区分	金額	主な積算内訳		
		費目	単価・数量	小計
1. 設備備品代	0	*****	0・0	0
		*****	0・0	0
2. その他経費	0	*****	0・0	0
		*****	0・0	0
助成研究費合計	0			

(様式3号)

20**年 月 日

《研究者等所属機関名》

《研究者所属機関長》 殿

一般社団法人カーボンリサイクルファンド
会長 福田 信夫

年度研究助成金交付決定通知書

20**年 月 日付けで申請がありました 年度研究助成金について、下記のとおり交付することに決定したので、助成金交付規程第3条第3項の規定に基づき、通知します。

記

申請者番号：

研究課題名：

1. 助成金の対象となる事業及び内容

20**年 月 日付けで受理した申請のとおりとする。

ただし、助成事業の開始及び終了予定年月日は、次のとおりとする。

開 始年月日 20**年 月 日

終了予定年月日 20**年 月 日

2. 助成金は次のとおりとする。

助成金の額 金 《助成金合計》円

3. 交付条件

以上

(様式4号)

20**年 月 日

一般社団法人カーボンリサイクルファンド
会長 福田 信夫 殿

住 所
所属機関名
所属機関長 (印)

年度研究助成金交付請書
(20**年 月から20**年 月まで)

下記研究課題について、別紙の研究助成金交付条件及び助成金交付規程に従い、実施することとするため、助成金交付規程第6条の規定に基づき、請書を提出いたします。

記

1. 研究課題名

2. 助成金交付申請額 金 円

3. 助成事業の開始及び終了予定年月日

開 始年月日 20**年 月 日

終了予定年月日 20**年 月 日

4. 助成研究費支出計画

20**年 月 日付の交付決定通知書の助成金の額に対して、別紙のとおり提出する。

以上

研究助成金交付条件

- ① 助成金の交付の決定の内容及びこれに付した条件に従い、善良な管理者の注意をもって助成研究を行う。
- ② 研究助成は「研究助成交付申請書」記載内容に基づき実施する。
- ③ 助成研究の実施過程において、上記内容を変更する必要がある場合は、速やかに当法人に報告し協議する。
- ④ 助成研究が終了したときは、研究結果概要を記載した実績報告書を当法人に提出する。また、30日以内に当法人に成果報告書を提出する。
- ⑤ 助成終了後は当法人が開催する成果報告会でその内容を発表する。
- ⑥ 助成研究の成果に基づき新たな研究を行う場合又は成果を事業化する場合には、その内容及び方法につき当法人との協議に応ずる。
- ⑦ 助成研究に関して論文などを発表する場合は、当法人の助成を受けた旨明記する。
- ⑧ 「研究助成交付申請書」に記載した研究を実施しなかった場合は、助成金を返還する。
- ⑨ 真に研究に必要な資金であれば、特に用途についての制限はない。ただし、申請者が所属する機関の間接経費に充ててはならない。
- ⑩ 帳簿を備え、助成研究に係る経理を他の経理と区別し、当法人等から照会があった場合はこれに応ずる。
- ⑪ 当法人が研究施設への訪問を希望した場合は、可能な範囲で対応すること。
- ⑫ 受託した助成金及び研究に使用する費目に係る会計処理及び税務処理は、助成金の受領者の責任において行う。
- ⑬ 当法人が主催する成果報告会やセミナーなどでの講演を依頼した場合や実施期間中の資料作成などを依頼した場合は、可能な範囲で対応すること。

以 上

(様式5号)

20**年 月 日

一般社団法人カーボンリサイクルファンド
会長 福田 信夫 殿

住 所
所属機関名
所属機関長 (印)

実 績 報 告 書

20**年 月 日付けをもって交付の決定の通知を受けた一般社団法人カーボンリサイクルファンド 年度研究助成活動に係る助成金について、助成金交付規程第7条第1項の規定に基づき、下記のとおり実績を報告します。

記

1. 研究課題名

2. 助成金交付決定額 金 円
(20**年 月から20**年 月まで)

3. 研究成果報告
(別紙1) 研究成果報告のとおり

4. 助成研究費支出実績
(別紙2) 助成研究費支出実績表のとおり

以上

研 究 成 果 報 告

研究課題名：_____

※提出の際は、赤字は削除して下さい。

(当初の計画)と(成果・実績)については書式を変えず、1ページ以内でまとめてください。(論文・特許・学会発表等)については制限ありません。

(当初の計画)

(成果・実績)

(論文・特許・学会発表等)

助成研究費支出実績表
(20**年 月から20**年 月まで)

組織ごとに作成して下さい。
※提出の際は、赤字は削除して下さい。

組織名： _____

(単位：円)

経費区分	金額	主な積算内訳		
		費目	単価・数量	小計
1. 設備備品代	0	*****	0・0	0
		*****	0・0	0
2. その他経費	0	*****	0・0	0
		*****	0・0	0
助成研究費合計	0			

(様式6号)

20**年 月 日

《助成研究者所属機関名》

《研究者所属機関長》 殿

一般社団法人カーボンリサイクルファンド
会長 福田 信夫

一般社団法人カーボンリサイクルファンド
20XX年度研究助成活動に係る実績確認通知書

20**年 月 日付けをもって交付の決定の通知を行った一般社団法人カーボンリサイクルファンド 年度研究助成活動について、20**年 月 日付けで提出された実績報告書(20**年 月から20**年 月まで)の内容を審査した結果、助成金交付規程第7条の規定に基づき、下記のとおり、実績を確認したので、通知します。

記

1. 研究課題名

2. 助成金額 金 円

以上

一般社団法人カーボンリサイクルファンド

20〇〇年度研究助成活動

《研究課題名》

成果報告書

20〇〇年〇〇月

※研究助成終了月を記載する。

研究代表者所属機関

共同研究者所属機関 1

• • •

目次

和文要約	i
英文要約	ii
1. 記載内容	1
2. 書式.....	1

和文要約

英文要約

1. 記載内容

成果報告書への記載内容は研究背景、研究目的、助成終了時点における実用化に向けた課題や今後の計画、論文・特許・学会発表等の成果についても記載して下さい。また、参考文献がある場合は、適宜記載して下さい。記載方法は、脚注、文末脚注等特に限定するものではありません。

2. 書式

成果報告書は、A4 縦の横書きを基本とし、必要に応じて A4 横、A3 などをお使い下さい。また、図表番号、単位等の記載方法については全体で統一させて下さい。参照しやすいようページ番号は記載して下さい。その他、書式については特に限定するものではありません。

この研究は、一般社団法人カーボンリサイクルファンドからの助成で実施した成果である。

本件についてのお問合せ先

(内容等)

〒 - 研究代表者所属機関住所

研究代表者所属機関名

研究代表者所属部署

研究代表者名

Tel :

E-mail :